Ari-nishi Family

江東区立有明西学園通信　令和８年１１月号

第　7　号
令和8年　１１月2日　発行
校長　井　熊　豪

「好き」を重ねる過程こそが、「かがやく」の原動力

校長 井熊 豪

朝晩ぐっと冷え込むようになりました。10 月 28 日には東京で例年より早い木枯らし一号が観測され、季節は秋から冬へと移り変わっています。

10 月は、本学園のこどもたちの大活躍と「みんな、かがやく！」瞬間にあふれる１ヶ月でした。６年生の日光移動教室、前期課程・後期課程の学びのつながりを感じる連合陸上競技大会と連合運動会、地域と共に学ぶ前期課程の取り組み、そして学園最大の行事「Ari-nishi Festival」。私がカメラに収めたこどもたちのかいっぱいの表情は、1500 枚を超えました。

先日の Ari-nishi Festival では、参観される皆様の温かい拍手や笑顔のおかげで、最高の場を創り上げることができました。また、保護者の皆様から届いた「家でも一生懸命練習していた」「他学年の作品にも感動した」といった温かいご感想を読み、学校と家庭・地域が一体となった「全員で創り上げる最高峰」が結実したと深く感謝しております。

そして私は、当日にお見せできたこどもたちの素晴らしさだけでなく、本番までにこどもたちが学びを深める「過程」の素晴らしさを実感しました。

〇展示:題材と向き合い、試行錯誤して「カタチ」にし、思いを言葉にしていくこと
〇舞台:見て・感じてきたことを、自分らしく一人一人が表現し、一つの作品へとつくりあげていくこと
〇音楽・合唱:出会った曲を、たくさんの修正や悩みを通して、自分たちだけの音と形につくりあげていくこと
〇部活動・短期留学:「挑戦」を起点に、努力や思いを積み重ね、その集大成を伝えていくこと

これらの「過程」こそが、こどもの成長には不可欠だとあらためて感じました。そして、笑顔で発表・作品を伝える姿を見て、こどもたちがかがやくために必要な原動力は、自分が日々過ごすなかで「好き」を見つけていくことであるとも感じました。私は学園でこどもたちに育みたい『好き』には、３つのステップがあると考えています。

〇 出会った物事を自分ごととして捉え、その中に「好き」を見出せること
〇 誰かと比べるのではなく、自分なりの「好き」を自覚できること
〇 自分なりの「好き」を悩みながらも続け、「やっぱり好き！」に変えていくこと

「好き」を追究し、壁を乗り越えて自信に変えていくことこそが、未来を生きる大きな力となります。これからも、一人一人の「好き」から芽生える「かがやき」を大切に、教職員一丸となってこどもたちを育ててまいります。

11月の行事予定

・詳細な予定は、各学年の通信をご確認ください。

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	日		16	月	9年第3回定期考査
2	月	1～6年個人・保護者三者面談　1～6年4時間授業 ひまわり個人面談　後期開始	17	火	7～9年第3回定期考査　2年まちたんけん 特別時程　全校4時間授業　就学時健診　ｶｰﾎﾞﾊｰﾌﾌｫｰﾗﾑ
3	火	文化の日	18	水	7～9年第3回定期考査　7～9年4時間授業
4	水	B時程　全校4時間授業　ひまわり個人面談	19	木	7～9年学力テスト　4年アイススケート体験
5	木	1～6年個人・保護者三者面談　9年三者面談 1～6・9年4時間授業　ひまわり個人面談	20	金	B時程　2年まちたんけん
6	金	1～6年個人・保護者三者面談　9年三者面談 1～6・9年4時間授業　ひまわり個人面談	21	土	
7	土		22	日	ESAT-J Year3
8	日		23	月	勤労感謝の日
9	月	9年三者面談 9年4時間授業 ALL 朝礼 後期集会	24	火	開校記念日
10	火	9年三者面談　9年4時間授業　2年まちたんけん	25	水	4年木工教室　6年ＩＨＩ出前授業
11	水	9年三者面談　9年4時間授業　1年きらきら1年生	26	木	スマイルタイム　6年ＩＨＩ出前授業
12	木	9年三者面談 9年4時間授業 2年まちたんけん 前期振集会	27	金	B時程　1年テニスの森公園　6年ＩＨＩ出前授業
13	金	1～6年B時程4時間授業	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	7～9年4時間授業　後期集会

地域学校協働本部　Ari-nishi Supporters の活動

〇美検自習室、面接練習教室　〇校庭遊び場開放
〇標準服交換会　〇キャリア教育
〇図書ボランティア、読み聞かせ
〇学園サポート（Sports day　Ari-nishi Festival　学校公開）
有明西学園　地域学校協働本部（Ari-nishi Supporters）ブログ

地域学校協働本部
ブログはこちらから

6年生　日光移動教室

　９月３０日から１０月２日まで、２泊３日の日程で６年生は日光移動教室に行ってきました。天候に恵まれ、事前学習だけでは得られなかった学びを、現地で大いに深めることができました。



　初日は、足尾銅山の見学に行きました。トロッコに乗り、暗い坑道内に入っていきます。薄暗く肌寒い坑道内での採掘作業が、いかに大変なものであったかということに思いを馳せました。
　続いて、日光東照宮に向かいました。「日光と言えば」の三猿や眠り猫を実際に見ることができました。行動班で時間を守って行動し、様々な名所を巡りました。本地堂にある巨大な天井画の、龍の顔の下で拍子木を鳴らすと反響音が響く「鳴龍」も体験することができました。

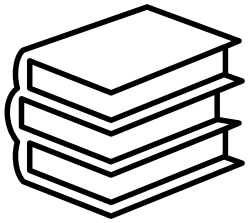


　２日目は好天のもと、まずは日本三名瀑の一つ、華厳の滝へ向かいました。展望台にまで飛んでくる水しぶきを見て、「虹が見える！」と、こどもたちは名瀑の迫力を感じられました。その後、湯ノ湖畔へ向かい、源泉見学や足湯の体験をしました。バスの中からでも硫黄の匂いがしました。お弁当を食べた後は、戦場ヶ原のハイキングです。湯滝から竜頭の滝まで、約６km の道のりを歩きました。視線を上げれば男体山が美しく映え、足元に目を向ければ日光の植物や虫が見つかります。奥日光の自然を満喫しました。
　そして夜は、こどもたちが待ちに待った、キャンプファイヤーです。ゲームや「マイムマイム」「ソーラン節」の踊りに、大いに盛り上がった思い出の夜となりました。

　そして、最終日は東武ワールドスクエアへ見学に行きました。夏休み前から調べ学習を進め、観光案内のチラシを作成しました。当日は、一般のお客様にもそのチラシをお渡しし、自分が選んだ世界遺産の模型の前で観光案内を行いました。一般の方にお話しするのは、とても緊張していましたが、聞いてくださった方からは、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。
　２泊３日の中で、学習面でも生活面でも大いに成長を感じることができた移動教室でした。これからも前期課程の最上級生として成長していく姿を見守っていただけると幸いです。



学校司書の活動を紹介します





図書室では、月・火・木の週３回、学校司書の横山さんがこどもたちの読書活動を支援しています。

前期課程の「図書の時間」には、絵本の読み聞かせをしたり、ブックトークをしたりしています。また、昼休みには、前期課程や後期課程の図書委員会の児童生徒の貸し出し活動の支援もしています。

その他に、新たに図書室に追加する新規購入図書も考案します。１１月発行の「図書便り」には、新着本の紹介もされているので、是非ご覧ください。

また、破損した本の修理や、児童生徒・教職員の利用者データの整理、夏には登録されている図書がすべてそろっているかを確認する蔵書点検も行います。一年を通して、時季に合わせたおすすめの本も展示しており、こどもたちの読書の幅を広げる役割を担っています。（図書担当より）